

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2023年8月22日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	東陽倉庫株式会社
所在地	〒450-8614 愛知県名古屋市中村区名駅南 2-6-17
代表者役職・氏名	代表取締役社長 武藤 正春
担当者連絡先	電話：052-581-0433
	メール： r_iwasaki@toyo-logistics.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.toyo-logistics.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

当社は1926年に設立された、中部圏及び関東圏に拠点を有する総合物流企業であります。 事業内容は、倉庫業、港湾運送業、海上運送業、陸上運送業、航空貨物運送業、複合輸送業、通関業、代理店業、不動産業であり、幅広くロジスティクスサービス等を提供しております。 また、日本国内だけでなく、アメリカ、中国、アジアの各地に現地法人を有し、世界各地に事業展開しております。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	物流事業におけるCO2排出の削減	全社における2030年度のCO2排出削減目標は、2020年度対比マイナス10%としております。
✓環境 ✓社会 ✓経済	自然災害や感染症に対する事業継続計画（BCP）を整備、及び社員の安全確保のための施策を実施	事業継続計画（BCP）を整備し、毎年1回見直しを行っております。
✓環境 □社会 □経済	環境に配慮した事業活動の推進	物流拠点への太陽光発電設備による再生エネルギーの創出、及び照明のLED化による省エネルギーを推進します。

(次項へ続く)

3. 添付資料

✓・SDGs達成に向けた具体的な取組(様式第2号)

✓・誓約書(様式第3号)

□・SDGs達成に向けた取組が記載された会社案内等(自社のウェブサイトがない場合に限る。)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・倫理規範に「人権を尊重し、健全な企業風土を作ります。」と定めている。 ・階層別研修において、倫理規範を周知している。 ・内部通報制度を設け、ハラスメント相談窓口として、社内のコンプライアンス統括室、及び社外の弁護士事務所を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメント防止研修を階層別を実施している。(年3回) ・内部通報制度を設け、ハラスメント相談窓口として、社内のコンプライアンス統括室、及び社外の弁護士事務所を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・時間外勤務の削減、有給休暇の取得促進、改善活動による業務効率化など働き方改革に取り組んでいる。 ・勤怠管理システムを導入し、労働時間の適正な把握を努めている。 ・長時間労働者に対し、産業医の面接指導を実施している。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・差別の禁止を規定した倫理規範を制定し、WEBサイトなどを通じて周知徹底している。 ・海外現地法人を含めた当社グループは、人権尊重に努めている。				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・安全品質委員会、及び各事業所において、合同物流品質委員会を設置し、安全衛生に関する取組を行っている。 ・ISO45001の認証を取得している。 ・安全パトロールを実施し、事故防止、及び労働環境の改善に取り組んでいる。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・年に1回、全社員を対象にストレスチェックテストを実施している。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・多様な人材を採用し、活力ある組織づくりを推進している。 ・性別、年齢、新卒中途、国籍に関わらず、能力と実績に基づき、処遇している。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・職務、役職等に応じた階層別研修を実施している。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・雇用形態に関わらず、役職・職務内容等に基づき、公正に処遇している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・年1回、全従業員を対象とした健康診断を実施している。 ・年に1回、全社員を対象にストレスチェックを実施している。			3					8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・可燃物、不燃物、ペットボトル等、廃棄物の分別を実施している。 ・貨物に付随する廃棄物のリサイクルを進めている。 ・ISO14001の認証を取得している。											11.6	12.4 12.5		14.1			

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
環境	12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている							7.3						13				
	13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている							7.2 7.3					12.4	13.3				
	14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4					
	15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している																	
	16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4 6.6											
	17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している												12.6					
	19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2						13				
	20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる																	
	21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している			3.9									12.4					
製品・サービス	22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している									9								
	23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる						6						12	13	14	15		
	24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している				4					9		11	12		14	15		17

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・愛知県共同募金会を通じて、寄付金および入替え期が、ある程度近づいてきた非常食を寄贈している。 ・事業所周辺の清掃活動を実施している。 ・献血活動を実施している。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・内部統制委員会を設置し、SDGsについてその目標を含めて共有している。								8	9								17
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・就業規則に反社会的勢力と関係を持たないよう明記している。 ・反社会的勢力による民事介入暴力が発生した場合の対応を定めた反社会的勢力対策規程を設けている。 ・内部統制委員会を設置し、コーポレートガバナンスの更なる充実を図っている。 ・コンプライアンス統括室を設置して、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・コンプライアンス統括室を設置し、ISO14001に準拠した環境マネジメントを統括している。																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	・ホームページにおいて、投資家等のステークホルダーに有用な情報を掲載している。																16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・ISO14001、45001の認証を取得して、コンプライアンス統括室がその窓口となっている。																16	
33	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・内部統制委員会を設置し、コーポレートガバナンスの更なる充実を図っている。																16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・事業継続計画(BCP)を整備し、毎年1回見直しを行っている。									9		11		13.1			16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・各カテゴリー毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。（空欄で結構です。）
- ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- ・「主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。

令和 6 年 8 月 6 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 〒450-8614 愛知県名古屋市中村区名
駅南 2-6-17

名称： 東陽倉庫株式会社(東陽倉庫グループ)

代表者： 武藤正春

登録年月日： 2023 年 11 月 14 日

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 □社会 □経済	物流事業における CO2 排出の削減	全社における 2030 年度の CO2 排出削減目標は、2020 年度対比マイナス 10%としております。	2023 年度は、2020 年度対比マイナス 7%になりました。
✓環境 ✓社会 ✓経済	自然災害や感染症に対する事業継続計画（BCP）を整備、及び社員の安全確保のための施策を実施	事業継続計画（BCP）を整備し、毎年 1 回見直しを行っております。	非常食および非常用飲料水の新旧入替を行いました。
✓環境 □社会 □経済	環境に配慮した事業活動の推進	物流拠点への太陽光発電設備による再生エネルギーの創出、及び照明の LED 化による省エネルギーを推進します。	2023 年 8 月に小牧インター 2 号倉庫 C 棟を建設し、庫内は LED を設置し、屋上には太陽光発電設備を設置しました。

令和 7 年 10 月 31 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	愛知県名古屋市中村区名駅南 2-6-17
名称：	東陽倉庫株式会社
代表者：	黒田 城児
登録年月日：	令和 5 年 3 月 2 9 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
☐ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	物流事業におけるCO ₂ 排出の削減	全社における 2030 年度のCO ₂ 排出削減目標は、2020 年度対比マイナス 10%としております。	2024 年度の CO ₂ 排出量は、9,965.57 CO ₂ t でした。
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	自然災害や感染症に対する事業継続計画（BCP）を整備、及び社員の安全確保のための施策を実施	事業継続計画（BCP）を整備し、毎年 1 回見直しを行っております。	2025 年 3 月に BCP 事務局会議を開催し、見直しを行いました。非常食、非常用飲料水の新旧入替、防災備品の追加をしました。
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	環境に配慮した事業活動の推進	物流拠点への太陽光発電設備による再生エネルギーの創出、及び照明のLED化による省エネルギーを推進します。	2025 年 12 月に弥富心頭倉庫に太陽光発電の設置を予定しております。